



発行所
岐阜市長良45番地1
長良川鶺鴒屋花火大会
実行委員会

花火大会プログラム
想いと願いを夜空へ。
そして、未来へ。
(スタート)『あらたな
挑戦の始まり』◇白色
スターメイン「一人ひと
りの力」◇白から色」ぎへ
〈中盤〉勝利の鼓動◇
五輪とメダル『停戦と平
和への祈り』◇エッセン
シャルワーカーへの感謝

〈ファイナル〉『長良川
花火大会永遠なれ』◇
長良川花火の新たな幕
開け『打上げ場所』岐阜
グランドホテル前、打上
げ時間(約15分間)



写真は2020年のものです

謝辞

長良川は、二年連
鶺鴒屋 続で開催さ
れた岐阜・長良川での
花火大会。焼夷弾による
痛ましい記憶を残す岐
阜の人びとにとって、そ
れは鎮魂の花火であり、
未来を生きる勇気を与
えた希望の花火だった
ことでしょう。休戦を伝
え、平和を謳う五輪とと
もに、長良川での花火大
会が存続すべき意義は
共通です。昨今、未だ全
世界で猛威をふるう前
例のない新型コロナウイルス
に翻弄される私たちに
とって、この禍いの終焉
を願うこと、安心できる
未来を切望する想いは、
同じだからです。

予期 コロナ禍
せずしてでの開催
となった長良川鶺鴒屋
花火大会は、令和三年も
開催日を一般公開しな
いシークレット花火大
会となりました。大々的
な告知をうたず、日時公
開は県内を中心とした
寄付協賛者のみ留め
ることで動員管理をお
こない、周辺警備や感染
症対策など安全面での
課題をクリアしました。
ただ、く限られた方々
にしか開催日を告知で
きなかったことには歯
がゆさもあります。本当
はこの花火大会を沢山
の人に観せたかった
——しかし、その自分
達の思い以上に伝えた
かったのは、いつの時代
にあっても変わらない
「命の尊厳」です。人
はひとつひとつの命を、
小さな灯を守るように
大切に繋いできました。
長い歴史の中において、
わずか一瞬の煌めきに
しか過ぎないとしても、
時を超え、観る人の心に
宿り、勇気や希望を与え

てきたのは、そんな灯
だったのではないで
しょうか。小さな光の集
合体で夜空を照らす大
玉の花火。だれしもの記
憶に刻まれているその
景色も今という「未来」
へ向けられた「希望」
だったはず。
私たちが 長良川
の世代 花火の灯
を、絶やしたくありませ
ん。その願いを、さらな
る未来へ届けたい。そん
な地域の人々の心意気
と繋がりが、岐阜には、
まだ残されています。こ
れは、この地に住む私た
ちの誇りです。すべては
長良川花火の灯を次の
世代へ繋ぐため。そのた
めには、今大会こそ、な
んとしても成功させな
ければいけない。その強
い思いで、ここまでま
した。長良川鶺鴒屋花火
大会は、コロナ禍という
世界的にも困難を強い
られた年を、越えていく
ための新たな幕開けの
序章に過ぎません。
第二回 緊急事態
大会は 宣言発出
で鶺鴒が中止となり二
度の延期を経ての開催
でした。舞台裏に各々の
ドラマがあります。長良
川鶺鴒と連動する花火
の実現に指導鞭撻と心
強いお力添えを頂いた
杉山雅彦鶺鴒代表と長
良川鶺鴒匠組合の皆様
様に忠心の御礼を申し
上げますとともに、地元
開催に応援いただいた
鶺鴒屋界隈の皆様、事務
局拠点提供に協力いた
だいた「&n(アランド
ン)テナントの皆様・
シークレット開催の報
道に協力いただいたブ
レスの皆様その他応援
グッズ提供にご協力い
ただいた地元長良小長
良中卒業生校の皆さん・
昨年今年と寄付協賛や
ボランティアを申し出
てくださったあげる会
サポーターズ」の皆さ
ん。記念すべき第一回大
会から名もなき実行委
員会に温かな手を差し
伸べ応援し励まし支え
てくださった地元の全
ての皆様へ、この場を借
りて、改めて多大なる感
謝を申し上げます。ま
た、無謀にも思えたこの
花火大会を実現するに
あたって、二年連続打ち
上げを担当いただくな
ど全面協力を引き受け
てくださった株式会社
村瀬煙火の皆様へ、心よ
り御礼を申し上げます。
かつて 伝える平和
休戦をの使者がも
たらした聖火のごとく、
昭和から平成そして令
和を繋いできた、岐阜・
長良川の花火大会。そ
の、ともしびが、この先
も、未来永劫続いてい
くことを、私たちは
願ってやみません。
長良川鶺鴒屋花火大会
実行委員会 一同

大会 第二回
鶺鴒屋に一千余名の共鳴
世代越え「みんなの長良川花火」
主催
長良川鶺鴒屋
花火大会
実行委員会

岐阜の誇る原風景を次世代へ
花火大会存続祈り、有志が2年連続2千発打上げ
金華山にこだまする十五分間の「感動序曲」

寄付協賛者
メッセージ
より抜粋
◇昨年の花火も見させ
て頂きました。本当に
感動しました。涙が出
そうなのをぐっところ
えて、子供と一緒に拍
手したことが思い出に
なっています。今年も
花火が見られること、
楽しみにしています。
◇昨年の花火、本当に
感動しました。見てい
る子どもさんが「あれ、
僕の花火！」って喜ん
でる笑顔が眩しかった
です。そして何より、
あんなに見ているだけ
で心がいっぱいになる
花火は初めてでした
…。今年も沢山の人に
笑顔になってもらえる
花火を是非！◇長良に
生きて、毎年当たり前
だと思っていた花火が
なくなり、寂しく思っ
ていた去年、鶺鴒屋花
火大会を見て元気をも
らいました。心まで元
気になれる花火をまた
今年も息子に見せたい
です。応援しています。